



ほろのべ

北緯45度のまち

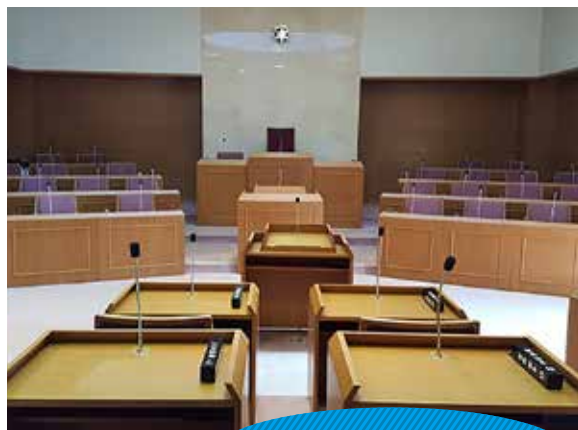
# 議会だより

第143号

- 発行 北海道幌延町議会
- 編集 議会報編集委員会
- 電話 01632-5-1111
- FAX 01632-5-2971

主な内容

一般質問	9~10
北留萌消防組合議会	10
西天北五町議会	10~11
まちづくり常任委員会	11~12
第1回幌延町議会臨時会	12
第2回幌延町議会定例会	12~14
令和8年度予算審査特別委員会	14~16
議会の動き	16
編集後記	16



2氏が質問

## 一般質問 第2回定例会 (3月11日)

# 地域の課題をとらえて

佐藤 忠志  
齋賀 弘孝

### ◎幌延町奨学資金貸付条例について



佐藤 忠志

- ・幌延町奨学資金貸付条例について
- ・幌延町医療職員養成就学資金貸付条例について

**質問**▶近年の都市部における生活費の上昇は著しく、現行の月額5万円では学業継続の支えとして不足している懸念がある。地方からの学生は、このほかに受験するための交通費、宿泊費、進学してからの下宿代、生活費などを考慮しても、上限額の引き上げを検討すべきではないか。また、償還金の減免は2分の1だが、町内での定住、就職を強力に後押しするためには、一定期間の居住勤務を条件とした全額免除(無償化)も検討する考えはないのか。

**教育長**▶近隣自治体と同程度、若しくは高い設定となっている。将来的に本人が償還していかねばならないことを考慮すると妥当な金額と判断している。

### ◎幌延町医療職員養成就学資金貸付条例について

**町長**▶町内に就職する若年層を対象とした支援として、奨学金を返還中の町内事業所の正規雇用者に対し、決定年度に返還した奨学金を助成する奨学金返還支援制度事業や、町内企業への新卒就業時と、勤続年数に応じた奨励金を支給する新規学卒者等就職奨励事業を令和8年度から新たに実施することにより、本町の様々な職種における人材確保および就業促進を図りたい。

**質問**▶保健師、看護師などの医療職員はなぜ卒業後1年以内に町の職員として従事する必要があるのか。今後、期間を延長する考えはないのか。

**町長**▶医療職員の確保が非常に難しく、特に不足して